

岐路に立つ市政 不透明な再開発事業の行方

市民サイド 皆川 りうこ

国分寺駅再開発事業、臨時財政対策債の問題

巨額の税金を投入して実施される事業の先行き不透明だ。方針次第で他の事業への影響は避けられず市財政の根幹を揺るがしかねない。本予算は実態に即さない数字か、との疑念を抱く。

問)大規模権利者の撤退表明により保留床処分が困難な状況だが、現計画の見直し方針は示されているのか。何らかの検討事項を議会にも示すべき。現計画を元に計上された予算は実態とは異なる。結局、計画の見直しをするか否か。

市長)現計画で進めていくために全力を挙げ、あらゆる可能性を検討すると1月の委員会でも話したが、当時との変更はない。現計画の実現に向けての数字を提案したのは当然のことだ。現計画の推進に全力を挙げ、同時に計画の見直しを含め最大限の検討努力し早期実現を目指す。

問)将来形の残らない借金である臨時対策債の発行は好ましいことではない。見解を伺う。

市長)この3年間借りずにきたが、本予算は従来にない厳しいので予算措置した。今後とも、行革、歳出削減、歳入の増加に努め、国への適切な財源対応策を求めていく。

施政方針で掲げられている施策について問う

問)史跡の駅、おたカフェ事業を単体の観光事業として捉えるのではなく、地域にある自然、生物、健康施策、学校、商工振興など様々な資源とのタイアップにより、より発展させていくことも必要ではないか。旅行会社等にも営業を。

市長)観光の面と文化財施設の管理など国分寺市の歴史的な特性を生かす意味合いもかねている。多面的な活用の可能性があると思う。

問)商工振興策の高齢者への宅配事業を、一人暮らしの高齢者への安否確認、声かけなどの高齢者施策と連動して進めてはいかがか。

市長)人と人とのふれあい、消費者との関係性の構築は大事な点だ。商業関係者と協議し、より良い事業になるよう努めていきたい。

問)子どもに関わる問題として、教育、福祉、健康施策との横断的連携が必要だ。子どもに関する窓口の一本化、総合相談窓口の設置を。

市長)十分な機能が果たせるよう考えていく。

問)虐待を受けた子どもの居場所確保の問題で、施設入所できない19歳など高年齢の場合や法律に位置づけのないシェルターの現実に向け、

解決のため法整備など市からも発信を。

市長)対応できる場所は対応したい。

問)すべての人が持てる力を発揮し支えあうユニバーサル社会を目指すことをコンセプトに。

市長)当然そのつもりでやってきた。

問)小金井市とは対等な立場でごみの共同処理問題に取り組み、先方に誠実な対応を求めよ。

市長)共同処理実現にむけ最大限努力する。

問)指定管理者制度の現状と評価はいかがか。

市長)民間に任せられるところは民間の考えで進めてきた。単に安ければ良いではなく、市民の皆さんの声を聞きながら改善に努めたい。

問)人事管理面で、退職した職員の再雇用に際して市民から評判が悪いことがあるなど持つのほか。人事管理の現状はいかがか。

市長)専門的な経験や体験をいかした仕事だけでは限らない。更なる改善も必要だ。

問)民間委託の介護予防、健康指導などで、本人からの申し出があれば個人情報や民間に提供しないような対応を図るべきではないか。

市長)情報提供など個人情報の保護に努めたい。

問)平和行政、憲法行事は後退することなく取り組み、学校教育との連動で更なる充実を。

市長)非核平和宣言都市として務めを果たす。

徹底した行革で 収支均衡型の財政体質を

生活者ネット・市民クラブ 多良 京孝子

①行財政改革の実行に向けて

問)目標達成年度を23年度として収支均衡型の財政体質を確立すると市長は明言しているにもかかわらず、現時点の達成率はほとんどの項目が10%~20%。するべきこともせず財源不足を安易に借金で補填しようとする姿勢は理解できない。基金に依存した財政体質からの脱却に向け、これまでも徹底した行革を求めてきた。經常収支比率80%台達成に向けた取り組みを示せ。

市長)アウトソーシングの基本方針に則り個別の実施計画に取りかかる。給与改革、枠配分予算の見直しについては、検討を重ねて次年度の予算編成に間に合わせたい。

問)毎年新規事業やレベルアップ事業が増えるのに対して、統廃合される事業が少なく歳出が膨らむ要因になっている。現在の事務事業評価では事業の精査に限界がある。市民サービスの低下を招かない工夫の上で、事業の取捨選択を可能とする行政評価の見直しを求め。

市長)評価のしくみ等、改善をすすめる。

問)地域主権型の経営体質を確立するには地域の制度、政策等を自ら生み出していく生産的、創造的な思考が必要。そのためには職員の育成・意識改革が不可欠。日常業務を効率的にこなし、生活の中での経験で得た価値観や多様性を業務に活かすことで、新たな発想につなげる考え方を戦略として全庁的にすすめることが必要。

市長)出来る限りそういった方向で見直す。

②国分寺駅北口再開発事業について

問)市財政を破綻させることなく、現在示されているスケジュールどおりに事業を進めることが可能であると認識しているのか。

市長)最大限の努力を続け、様々な状況変化に対応することも踏まえ今後の対応を図る。

問)膨らむ事業費の縮減策として、駅前広場地下に予定されている自転車駐輪場建設を中止し、民間による建設・運営を誘導してはいかがか。

市長)そういったことも含め、検討を重ねる。

③地域福祉の推進について

問)昨年度の代表質問で「23年度末を目標に地域福祉計画の策定にとりかかる」と市長は答弁したにもかかわらず、今年度の施政方針には何の具体策も明記されていない。赤ちゃんから高齢に至るまで行政の縦割りを排した地域の様々な問題を、市民みずから話し合いながら形にしていくには手間と時間がかかることが想定される。策定に向け今年度の取り組みを問う。

市長)地域との連携を取りやすい土台を作る意味で22年度には担当の係を設け人員を配置する。

④就労支援について

問)労働政策は行政だけの取り組みには限界があり、市民力、地域力、民間の活力を効果的に活かしていく視点が不可欠。22年度には行政関連機関だけでなく市民や市民団体、民間事業者の理解や協力を広げ、連携、連動をした「地域連絡会」を立ち上げ、就労を支える仕組みを。

市長)雇用の問題に関連する多くの団体に働き掛けて連絡会を作り、話し合いを深める。

⑤環境教育について

問)市内各小中学校で、全市民の早急の課題であるごみ減量を今年度取り組みとして挙げていただきたい。子どもたちの感受性と創造性が様々なアイデアにつながると思われる。

教育長)食育とごみ減量をつなげて考えていく。

⑥図書館について

問)昨年統一されたシステムによって学校から地域図書館の本がリクエストできるしくみを。

市長)教育委員会と相談しながら進める。

閉会中の委員会等

- 4月19日(月) 議会運営委員会
代表者会議
- 4月20日(火) 建設環境委員会
- 4月21日(水) 厚生委員会文教委員会
連合審査会 ※1
- 4月22日(木) 総務委員会
- 4月26日(月) 第1回臨時会
- 4月27日(火) 文教委員会 ※2
- 5月28日(金) 代表者会議
議会運営委員会

委員会は市役所第1庁舎3階第1・2委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

- ※1 厚生委員会で審査中の「子どもの権利と未来を守ろう条例」について、文教委員会の所管に関連する部分があるため、両委員会が合同で審査するものです。
- ※2 午後1時30分から開始予定です。

議事担当(内468)

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

平成22年第2回定例会(6月開会予定)からの審査を希望する方は5月12日(水)までに市役所第1庁舎3階議会事務局へ提出してください。

なお、それ以後6月18日(金)までに提出された請願・陳情は、定例会後の閉会中の委員会からの審査になります。

※提出にあたっては、事前にご連絡ください。

調査担当(内581)

